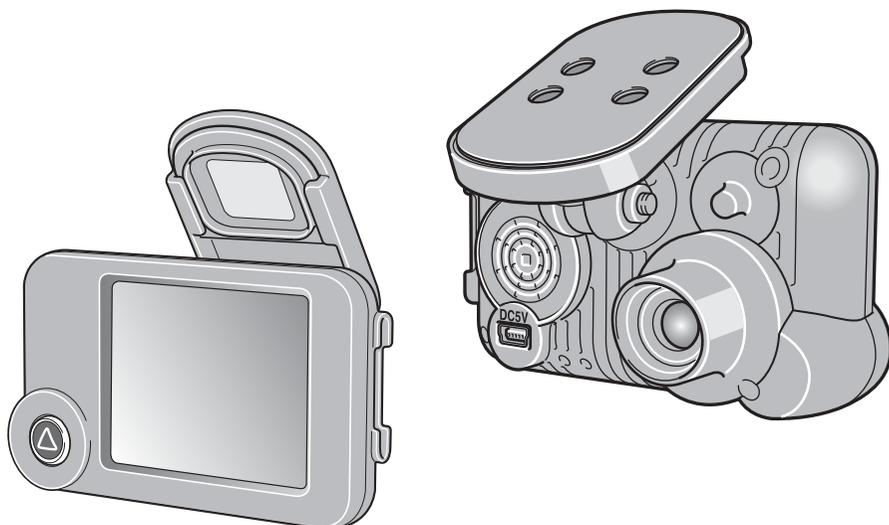


ELECOM

ドライブレコーダー

LVR-SD120H



LVR-SD120H シリーズ プレーヤー操作ガイド

このたびは、ドライブレコーダー LVR-SD120H シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

最初に『スタートアップガイド（設置ガイド）』をお読みの上、取り付け、電源の接続など、設置を行ってください。

『プレーヤー操作ガイド』（本書）には、本製品で記録された映像の再生や、SDHC カードのフォーマットなどを行う「CarBox2」の使用方法が記載されています。

目次

安全上のご注意（必ずお守りください）	2
使用上のご注意	4
プレーヤーについて	5
プレーヤーを起動する	6
プレーヤーをコピーする	6
CD または PC から起動する	6
SDHC カードから起動する	7
プレーヤーウィンドウの構成	9
記録された映像を再生する	11
SDHC カードに記録された映像を再生する	11
PC にバックアップした映像を再生する	12
記録されるデータについて	14
記録設定を変更する	15
設定項目の一覧	16
データを PC にバックアップする	17
プレーヤーで SDHC カードをフォーマットする	19
SDHC カードをフォーマットする	19
SDHC カードの専用フォーマットを消去する	20
ディスプレイで映像を確認する	23
キーの機能	23
設定メニュー	24
映像の再生	24
困ったときは	25
製品仕様	26
サポート修理受付窓口のご案内	27

安全上のご注意（必ずお守りください）

■本製品を正しく安全に使用するために

- この「安全上のご注意」は製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。ご使用前には必ず記載された注意事項をよくお読みになり記載事項にしたがって正しくお使いください。
- この「安全上のご注意」をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の方への危害、財産の損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。



警告

この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険性または重大な物的損害が発生する可能性」があります。



- 自動車を運転中に操作しないでください。

運転者による運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。本製品の操作は、必ず車が停止した状態で、周囲の安全を確認してから行ってください。[FORCE]（手動録画）ボタンを押すときは、危険がないように、周囲の安全を確認したのち、素早く操作してください。



- 取り付けは、運転に支障がない場所（ブレーキ操作や、ハンドル操作の妨げにならない場所）に接続してください。



- エアバックの近くに取り付けたり配線をしないでください。

緊急時にエアバックの動作を妨げたり、エアバックによって製品が飛ばされ、ケガや事故の原因になる恐れがあります。



- SD カードの差込口やその他コネクタに異物を入れないでください。

火災、感電の原因になります。



- 万一、本製品から異臭や煙が出たときは、直ちに使用を中止し、電源を切りシガープラグをシガーソケットから抜いてください。その後は本製品を使用にならず、販売店にご相談ください。



- 分解しないでください。

本書の指示に従って行う、作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。



注意

この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性」があります。



- 濡れた手で扱ったり水気の多い場所での使用 / 保管は行わないでください。



- 本製品内部に液体が入ると、故障、火災、感電の原因になります。



- シガーソケットの形状をご確認ください。
外国産車や一部の国産車では、本製品とシガーソケットの形状が適合しない場合がありますので、ご注意ください。



- 取り付けは確実に行ってください。
正しく取り付けがされていないと、製品が脱落し、ケガをする恐れがあります。
また、取り付けの際、ケガをしないように、スタートアップガイドに従い、慎重に行ってください。



- 本体は精密機器のため、極端に大きな衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。



- 日本国以外では使用しないでください。
この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合することは保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。



- 運転中に製品の設定、操作をしないでください。また運転中は録画状態を確認するために製品を注視したり、わき見したりしないでください。

その他の注意事項 (その他、こんなことにも注意してください。)



- シガーソケット付近に段差などがあり、本製品を十分に差し込めない場合、市販の分配 / 延長ソケットをお買い求めください。



- 車種によっては、キーを抜いても、シガーソケットから電源が供給され、バッテリー上がりの原因となる場合があります。ご使用の車がこのタイプの場合、車から離れる際は、必ず本製品をシガーソケットから取り外しておいてください。



- 本製品が汚れたときは、水または中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で、拭いてください。ベンジンやシンナーを使用すると変形、変色の原因となります。



- シガーソケット内のごみや、汚れは、本製品の動作不安定や故障の原因となります。汚れを取り除いてから使用してください。

使用上のご注意

- 本製品を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社はいついその責任を負いません。
また本製品を使用して記録された映像は、事故などのトラブルに対して、裁判などでの証拠能力を保証するものではありません。
- 本製品により収録された映像は、事故内容を確認するための参考としてのみご利用ください。
(裁判、紛争の和解、保険請求などに使用する場合には、お客様のご判断と費用のご負担になります。
なお、映像の証拠能力が保証されているものではなく、証拠として採用されるかどうかは各関係機関の判断となり、また必ずしもお客様にとって有利な証拠となる保証はありません。)
- 本製品は、車両の運行、本製品の設置、事故時の衝撃検知などの各条件により、映像の記録を保証するものではありません。
また、上書き記録されることによりデータが保護されない場合があります。
映像の記録については、「記録されるデータについて」(P.14)を参照してください。
- 本製品の使用によって生じたSDカード上に保存されたデータ破損、車両及び人身、その他事故に関わる損害について、弊社は一切責任を負いません。
- 製品の動作を確かめるために、急ブレーキなどの危険運転はお止め下さい。
- LEDタイプの信号機の場合は映像がちらついたり、色の識別がむずかしい場合があります。
- 本製品は車両の走行状態、事故時の状況を記録するための機器です。その他の目的には使用しないでください。
- 本製品の使用方法、および、本製品で記録した映像、音声のデータの使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシー等の権利を侵害する場合があります。本製品およびその記録データの使用については、法令等に従って、十分にご注意ください。
また、本製品を取り付ける際は、道路交通法等法規に従って正しく取り付けてください。(『スタートアップガイド』を参照してください)
- 本製品は国内での使用を想定して設計されています。海外での使用は保証の対象外となります。
- 安定してご使用いただくため、SDカードは1～2週間を目途に一度フォーマットすることをお勧めします。
- SDカードは消耗品です。(各メーカーにより製品寿命は異なります。)
ご使用状況により寿命は短くなりますので、定期的に新品に交換することをお勧めします。
- SDカードの消耗に起因する故障や損傷等については、弊社は一切の責任を負いません。

プレーヤーについて

LVR-SD120H シリーズは、内蔵の G センサーによって、事故時の状況や日常の運転の様子などを、映像や音声として保存し記録できます。LVR-SD120H シリーズを活用すると、事故処理でのトラブルの低減や安全運転やエコドライブへの意識向上に役立てることができます。

LVR-SD120H シリーズには、記録した映像や音声を確認したり、保存したりするために専用のソフトウェア「プレーヤー (CarBox2)」が付属しています。

プレーヤーの特長は、次のとおりです。

特長

- 本製品は、データの改ざん防止のため、SDHC カードを本機専用の形式でフォーマットして使用します。
- 車外の走行中の記録映像、走行中の G センサーの情報を同時に再生できます。
- 記録する映像に関して、映像品質や G センサーの感度などさまざまな設定ができます。また、記録された映像を保護するためにパスワードも設定できます。
- 撮影した映像記録は、SDHC カードをパソコンに接続して専用のプレーヤーで確認できます。
- プレーヤーでは、記録ファイルを種類ごとに表示、記録時間と本機のセンサーに衝撃の加わった時点での動作状況の分析、確認ができます。
- 映像の再生は、早送り、コマ送りができます。例えば事故の映像などは前後の映像を早送りで、瞬間の映像をコマ送りにして確認することができます。
- 独自形式で保存された記録ファイルを、標準的な動画 (AVI) や静止画 (BMP) ファイルへ変換して、出力できます。
※動画 (AVI 形式) の場合、再生に適したプレーヤーが必要になる場合があります。
- 本製品のマイクで車内の音声も映像に合わせて録音でき、車内での会話や緊急時の音声を記録することができます。

プレイヤーを起動する

プレイヤーは、次の3通りの方法で起動できます。

- CD内のプレイヤーを起動する
- PCにコピーしたプレイヤーを起動する
- SDHCカードにコピーしたプレイヤーを起動する

プレイヤーをコピーする

PCから起動する場合は、CD内の「CarPlayer」フォルダーをフォルダーごとPCにコピーします。

SDHCカードから起動する場合は、プレイヤーの  (設定) を使用すると、「CarPlayer」フォルダーをフォルダーごとコピーできます。

メモ

プレイヤーをSDHCカードにコピーする操作については「プレイヤーをSDHCカードにコピーする」(P.16)を参照してください。

CDまたはPCから起動する

1. CDから起動する場合は、CDをPCにセットします。
2. CD内の「CarPlayer」フォルダー、またはPCにコピーした「CarPlayer」フォルダーを開き、 (CarBox2) をダブルクリックします。

メモ

Windows Vista、Windows 7、Windows 8の場合、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたら、[はい] ボタンをクリックしてください。

プレイヤーが起動し、プレイヤーウィンドウが表示されます



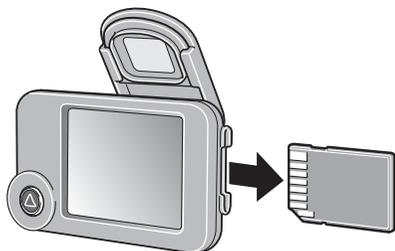
3. プレイヤーを終了するには、[プレイヤー] ウィンドウ右上の [×] をクリックします。

SDHC カードから起動する

1. 本機の SD カードスロット内の SDHC カードを押します。

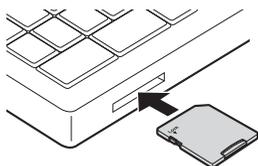
SDHC カードが SD カードスロットから出てきます。

2. SDHC カードを取り出します。



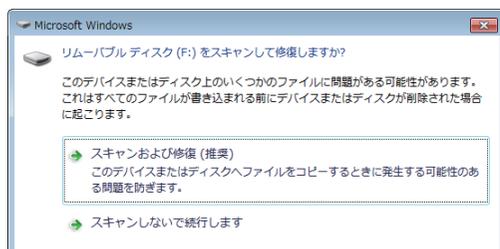
3. PC の SD カードスロットに SDHC カードをセットします。

外付けの SD カードリーダーを使う場合は、PC に SD カードリーダーを接続し、SD カードリーダーに SDHC カードをセットします。



リムーバブルディスクを修復するかどうかを選択する画面が表示されます。

4. [スキャンしないで続行します] をクリックします。



[自動再生] ダイアログボックスが表示されます。

5. [フォルダーを開いてファイルを表示] をクリックします。

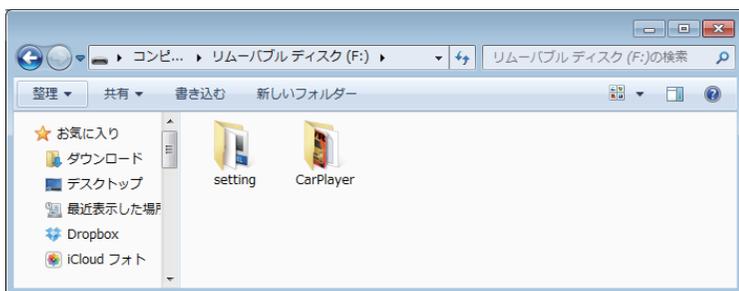


SDHC カードの内容が表示されます。

メモ

[自動再生] ダイアログボックスが表示されない場合は、[マイコンピュータ] から [リムーバブルディスク] を開いてください。

6. [CarPlayer] フォルダーをダブルクリックして、開きます。

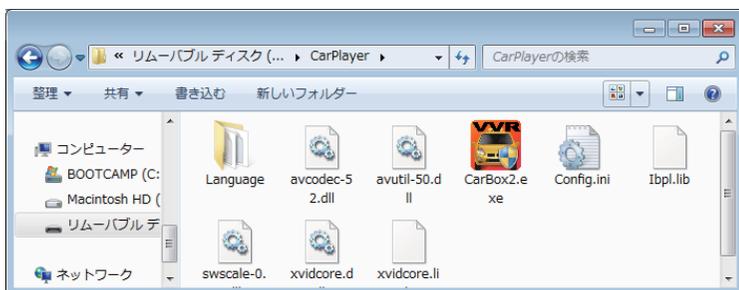


フォルダーの内容が表示されます。

7. (CarBox2) をダブルクリックします。

メモ

Windows Vista、Windows 7、Windows 8 の場合、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたら、[はい] ボタンをクリックしてください。



プレーヤーが起動し、プレーヤーウィンドウが表示されます

メモ

SDHC カードからプレーヤーを起動すると、通常すぐに記録映像の再生が開始されます。

8. プレーヤーを終了するには、[プレーヤー] ウィンドウ右上の [×] をクリックします。

プレーヤーウィンドウの構成

プレーヤーウィンドウには、走行中の映像や地図のほかに、再生や設定のための操作のアイコンなどが表示されます。



再生操作

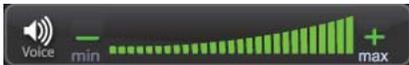
(前のファイル)	現在表示中のファイルの、ひとつ前のファイルを表示します。
(前のフレーム)	現在表示中のフレームの、ひとつ前のフレームを表示します。
(逆再生)	逆方向に再生します。
(一時停止)	再生中の映像を一時停止します。
(停止)	再生を停止します。
(再生)	再生を開始します。
(次のフレーム)	現在表示中のファイルの、次のフレームを表示します。
(次のファイル)	現在表示中のフレームの、次のファイルを表示します。

設定操作

(スナップショット)	現在表示中の映像をキャプチャして、静止画として保存します。プレーヤーと同じフォルダーに Snapshot というフォルダーが生成され、その中に保存されます。
(設定)	映像品質や G センサーの感度、録音など、記録に関する設定を変更します。「記録設定を変更する」(P.15) を参照してください。
(バックアップ)	SDHC カードに記録されたデータをバックアップ (保存) します。
(データの読み込み)	SDHC カード、または PC 上のデータを読み込みます。
(フォーマット)	SDHC カードの本機専用形式のフォーマットや、Windows 形式への復元を行えます。

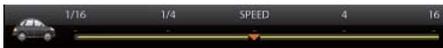
●音量の表示と調整

録音された音声の再生音量を調節できます。



●再生速度の調整

スライダーをドラッグすると、再生スピードを調整できます。



メモ

画面に表示されている数字は再生スピードの目安です。
実際の再生スピードを示すものではありません。

●映像検索

スライダーをドラッグすると、映像を検索できます。



●Gセンサー

Gセンサーの値を示します。



X: 水平方向の変化を示します。
Y: 垂直方向の変化を示します。
Z: 車の前方、後方の動きの変化を示します。

再生中の映像を静止画として保存するには

映像の再生中に  (スナップショット) をクリックすると、再生中の映像を静止画として保存できます。静止画は、プレーヤーのプログラムが格納されているフォルダーの「Snapshot」フォルダーに、ビットマップファイル (.bmp) として保存されます。

次のようなファイル名が自動的に付けられます。

img-yyyy-mm-dd-hh-mm-ss-ch1.bmp

(yyyy: 年 mm: 月 dd: 日 hh: 時間 mm: 分 ss: 秒) ※スナップショットを取得した時刻

メモ

- ・「Snapshot」フォルダーは、初めてスナップショットを実行したときに自動的に作成されます。
- ・SDHC カードの容量が足りなくなると、スナップショットを実行しても空のファイルができるだけで、映像が保存できなくなります。
- ・CD 内のプレーヤーを実行している場合、スナップショットは保存できません。

記録された映像を再生する

SDHC カードに記録された映像、音声を再生します。

メモ

- ・ プレーヤーの起動操作については「プレーヤーを起動する」(P.6) を参照してください。
- ・ パスワードが設定されている場合は、プレーヤーを起動するとパスワード入力のダイアログボックスが表示されます。設定したパスワードを入力してください。パスワードの設定については、「記録設定を変更する」(P.15) を参照してください。

SDHC カードに記録された映像を再生する

PC の SD カードスロットに挿入された SDHC カードから記録された映像を再生します。
通常、SDHC カードからプレーヤーを起動すると、すぐに最初のファイルから再生が始まります。

1.  (次のファイル) や  (前のファイル) などを使用して、再生したい映像を表示します。

メモ

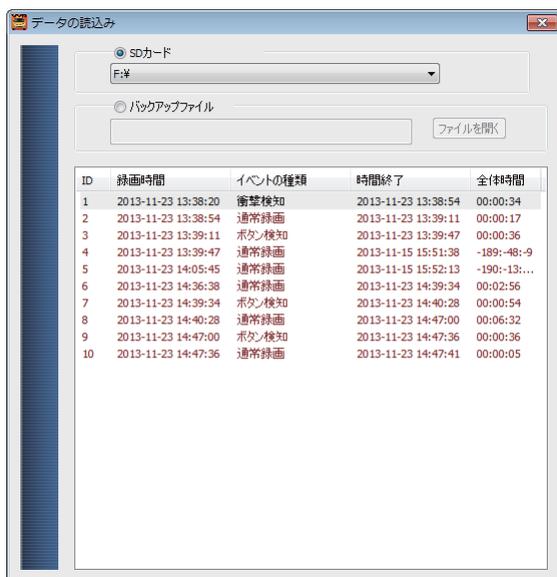
再生操作のアイコンについては「再生操作」(P.9) を参照してください。映像の検索や再生スピードの調整については「●再生速度の調整」(P.10) 「●映像検索」(P.10) を参照してください。

2. ファイルの種類や日時などを確認した上で、再生したい場合は、プレーヤーウィンドウの  (データの読み込み) をクリックします。

[データの読み込み] ダイアログボックスが表示されます。

3. [SD カード] に、セットした SDHC カードのドライブ名が表示されていることを確認します。

4. ファイルの一覧から再生したいファイルを選択し、ダブルクリックします。



再生が開始されます。



メモ

記録された映像には、記録されたときの時刻が表示されます。
製品の仕様上、表示される時刻がずれることがあります。

PC にバックアップした映像を再生する

PC にバックアップした映像を再生します。

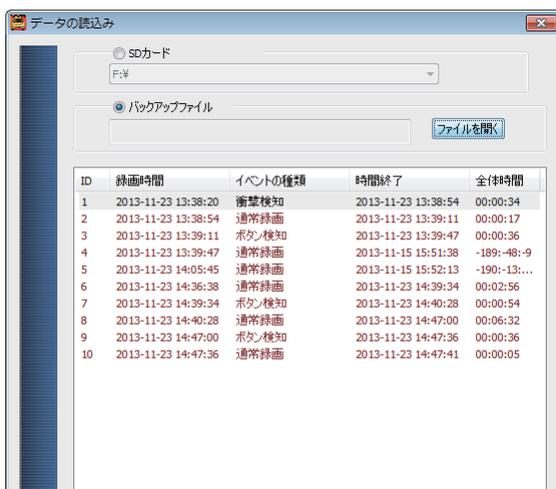
メモ

- ・ プレーヤーを使って再生できるのは、専用の形式でバックアップされたファイル（拡張子 SD の RAW 形式）のみに なります。
- ・ バックアップについては「データを PC にバックアップする」(P.17) を参照してください。

1. プレーヤーウィンドウの (データの読み込み) をクリックします。

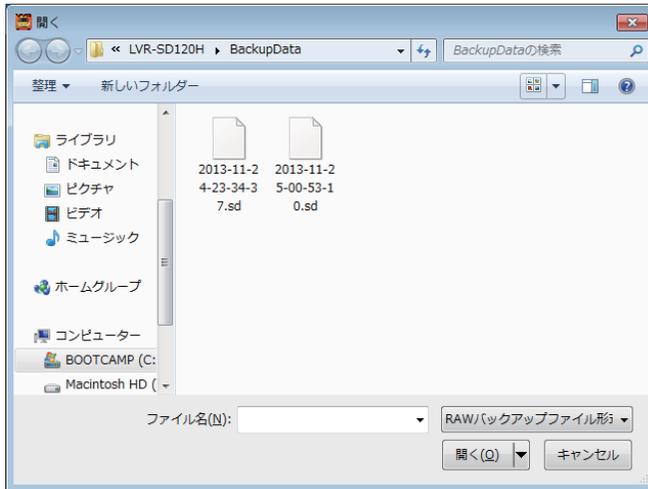
[データの読み込み] ダイアログボックスが表示されます。

2. [バックアップファイル] を選択し、[ファイルを開く] ボタンをクリックします。



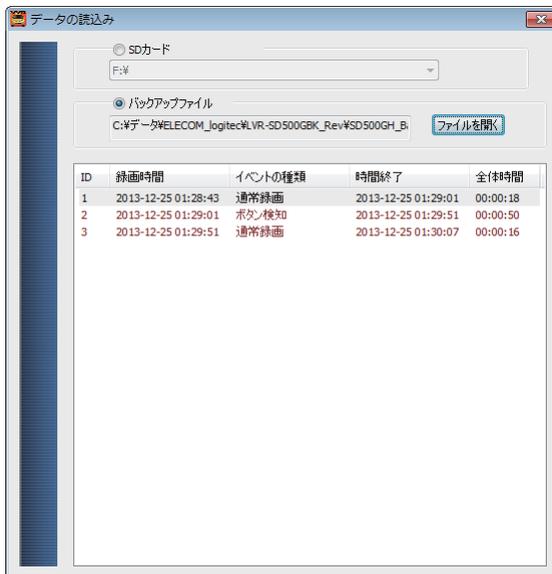
[ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。

3. バックアップファイルが保存されている場所を選択し、記録ファイル（拡張子 SD）を選択して [開く] ボタンをクリックします。



選択したファイルが [データの読み込み] ダイアログボックスのファイル一覧に表示されます。

4. 再生するファイルをダブルクリックします。



選択したファイルの再生が開始されます。

記録されるデータについて

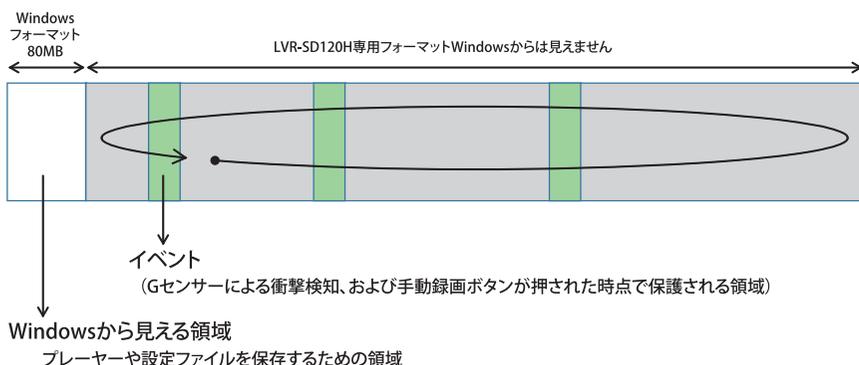
本製品は、エンジン始動に合わせて録画を開始する常時録画に加え、G（加速度）センサーによる衝撃検知、および [FORCE]（手動録画）ボタンでの手動検知によって、必要なデータを保護して走行中の映像を記録します。

SDHC カードの本製品専用フォーマットされた領域の内、40% がイベント記録用の領域として使用されます。残りの 60% は録画データ記録用の領域として使用されます。

それぞれの領域がいっぱいになると、過去のデータを上書きして記録します。

衝撃や手動などのイベント録画であっても古いファイルから上書きされ、新しい映像が記録されます。記録されたデータを失いたくない場合は、プレーヤーを用いてバックアップを行ってください。

SD カードの記録領域



イベントサイズ

イベントの基本サイズは 16MB(1 ブロック) で、衝撃検知ならびに手動録画によるイベントで約 48MB(3 ブロック) のイベントファイルとして記録されます。1 つのイベントファイルで約 50 秒のデータが記録されます。(最高画質、音声録音ありの設定)

* 衝撃検知は連続する場合がありますので、この限りではありません。

■ 衝撃検知 / 手動録画

16MB 約17秒 イベント前	16MB 約17秒 イベント	16MB 約17秒 イベント後
-----------------------	----------------------	-----------------------

記録される時間について

記録される時間は、記録時の設定や記録される映像によって異なります。

イベントファイルであっても、40 秒など短い時間の記録となることがあります。

注意

- 衝撃検知と手動録画の各イベントで保存できる総和は、SD カードの録画データ記録領域 (Windows 上では不可視になる部分) 全体の 40%、通常録画は残りの 60% になります。この比率は固定です。

記録設定を変更する

映像品質やフレーム数、Gセンサーの感度、録音など、記録に関する設定を変更します。また、記録された映像を保護するためのパスワードを設定できます。

メモ

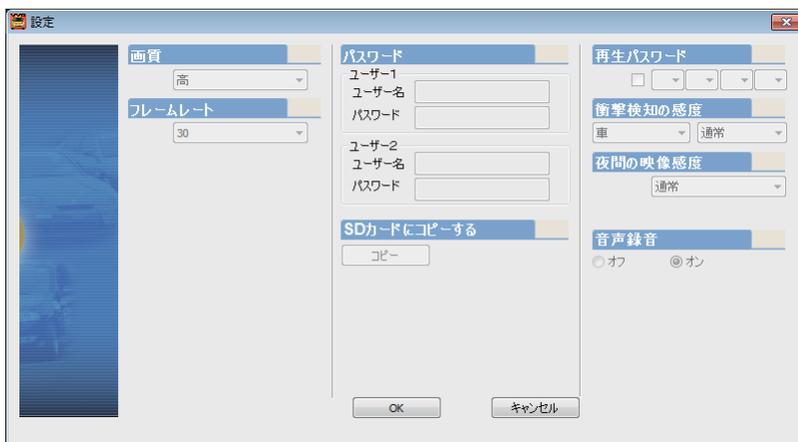
- ・ プレーヤーの起動操作については「プレーヤーを起動する」(P.6)を参照してください。
- ・ SDHCカードをフォーマットすると、映像品質やGセンサーの感度など、映像の記録に必要な標準的な設定が書き込まれます。フォーマット時の設定は次のとおりです。

項目	設定値
画質	高
フレームレート	30
パスワード	設定なし
再生パスワード	設定なし
衝撃検知の感度	車：通常
夜間の映像感度	通常
音声録音	オン

1. プレーヤーウィンドウの (設定) をクリックします。

[設定] ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて、各項目を設定します。



3. [保存] ボタンをクリックします。

設定した値がSDHCカードに保存されます。

注意

[設定] ダイアログボックスの各項目がグレーアウトしている場合は、[プレーヤー] ウィンドウの  [データの読み込み] をクリックし、[SDカード] でSDHCカードのドライブ名を選択してください。

設定項目の一覧

設定項目	設定内容と設定値
画質	映像の品質を設定します。* 高、通常、低のどれかを設定します。
フレームレート	撮影する映像の1秒あたりのフレーム数を設定します。 30 (固定)
パスワード	パスワードに関する設定をします。パスワードを使用する場合はユーザー名とパスワードを入力します。使用できる文字は、英数字で最大15文字です。パスワードを設定すると、プレーヤーの起動、映像の再生、SDカードのフォーマットを行うときにパスワードの入力が必要になります。 ユーザー2人まで設定できます。 注意 パスワードを忘れると、データは参照できません。セキュリティ上の仕様です。設定する場合は、ユーザー名/パスワードの取り扱いにご注意ください。
再生パスワード	このパスワードを設定すると、本機ディスプレイで映像を再生するときにパスワードの入力が必要になります。 パスワードは、4桁の数字で設定します。 チェックボックスにチェックを付けると、入力できるようになります。 ▼をクリックして表示されるプルダウンリストから数字(0~9)を選択します。
衝撃検知の感度	衝撃検知の感度を設定します。車の種類を選択し、感度を設定します。 車両の種類：* 車、トラック 感度：オフ、軽度、低、* 通常、高、重度 最初は弱めに設定し、ご使用のたびに少しずつ感度を上げて、適切な感度になるように調整することをお勧めします。
夜間の映像感度	夜間の映像感度を設定します。 最低、低、* 通常、高、最高
音声録音	音声を録音するかどうかを設定します。 オフ、* オン

* 印は、SDHCカードのフォーマット直後の設定値です。

プレーヤーをSDHCカードにコピーする

[設定]ダイアログボックスの[コピー]ボタンを使うと、プレーヤーをSDHCカードにコピーできます。コピーされたプレーヤーはSDHCカード上で起動することができます。

1. CDまたはPCにコピーしたプレーヤーを起動します。

2. プレーヤーウィンドウの  (設定) をクリックします。

3. [設定] ダイアログボックスの [コピー] ボタンをクリックします。

SDHCカードに「CarPlayer」フォルダーがコピーされ、フォルダーの内容が表示されます。「CarPlayer」フォルダーには、プレーヤーのプログラムとその起動に必要なデータが入っています。

4. 右上の [×] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

データを PC にバックアップする

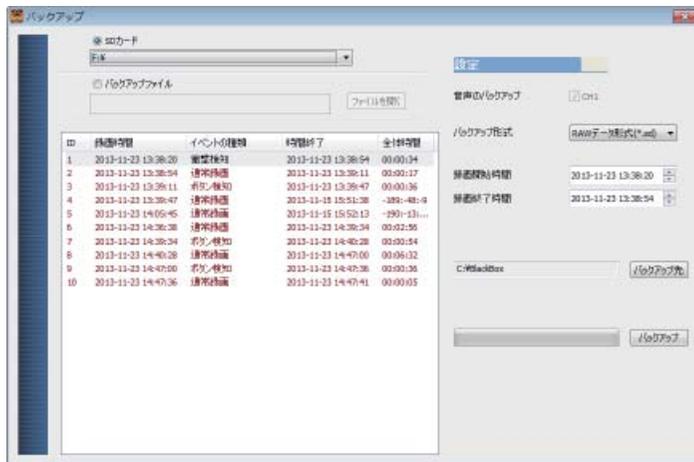
SDHC カードに記録されたデータを PC にバックアップ（保存）します。

メモ

プレーヤーの起動操作の詳細は、「プレーヤーを起動する」(P.6) を参照してください。

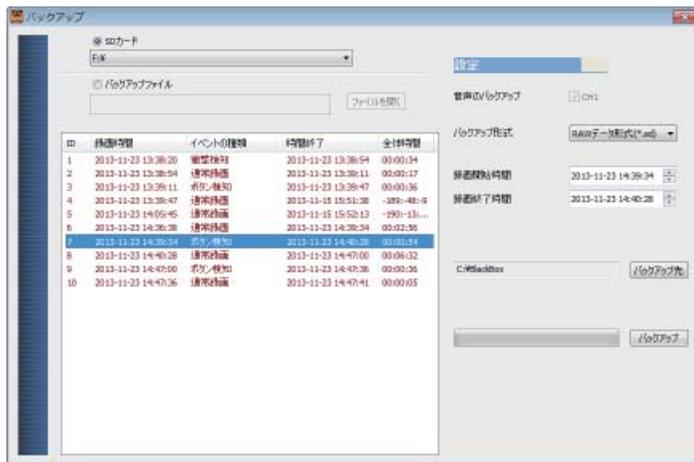
1. プレーヤーウィンドウの (バックアップ) をクリックします。

[バックアップ] ダイアログボックスが表示されます。



2. ファイル一覧から、バックアップするファイルを選択します。

一度にバックアップできるファイルは 1 つです。



3. バックアップするファイル形式を選択します。



「RAW データ形式 (*.sd)」を選択すると、ドライブレコーダーで取得したデータをそのまま出力します。
他のプレーヤーで再生する場合は「AVI 動画形式 (*.avi)」を選択します。

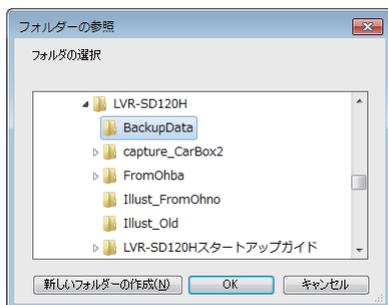
4. 必要に応じて、バックアップするファイルの録画開始時間、録画終了時間を選択します。

録画開始時間	2013-11-23 14:39:34
録画終了時間	2013-11-23 14:40:28

5. [バックアップ先] をクリックします。

[フォルダーの参照] ダイアログボックスが表示されます。

6. 保存先のフォルダーを選択して [OK] ボタンをクリックします。



7. [バックアップ] ボタンをクリックします。

バックアップが開始されます。バックアップが終了すると、メッセージが表示されます。

メモ

データのバックアップや AVI 動画形式での出力には、記録されたデータのサイズに応じて処理に時間がかかります。

8. [OK] ボタンをクリックします。



メモ

バックアップのファイル名には、バックアップを作成した時の時刻が設定されます。

9. [×] ボタンをクリックして、[バックアップ] ダイアログボックスを閉じます。

注意

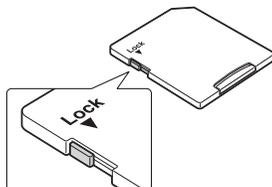
Windows Vista では、OS に標準でインストールされているプレーヤーで、バックアップした AVI ファイルを再生できません。その場合、他のコーデックを搭載したプレーヤーで再生できるか試してください。

プレーヤーで SDHC カードをフォーマットする

SDHC カードを本機にセットすると、自動的に本機専用の形式でフォーマットされます。業務に即した記録設定が必要な場合や複数の SDHC カードをまとめて処理したい場合など、必要に応じて、パソコン上のプレーヤーで専用形式の SDHC カードを作成することもできます。また、SDHC カードの本製品での利用を中止し、他用途で使用する場合には、パソコン上のプレーヤーで専用形式のフォーマットを解除する（復元する）必要があります。

注意

- ・ フォーマットする前に、SDHC カードがロックされていないことを確認してください。



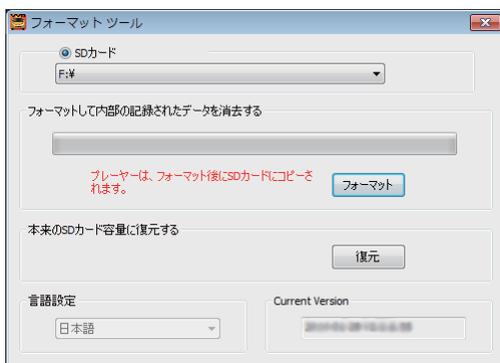
- ・ SDHC カードのロックを外してもフォーマットできないときは次のことを確認します。
OS が Windows Vista 以降 OS の場合、Administrator 権限のユーザーでないとフォーマット操作はできません。Administrator 権限でログインしてください。
フォーマットすると、SDHC カード本来の容量のうち 80MB を除き、残りの領域がプレーヤー専用の形式でフォーマットされます。

メモ

プレーヤーの起動操作については「プレーヤーを起動する」(P.6) を参照してください。

SDHC カードをフォーマットする

1. プレーヤーウィンドウの **×** (フォーマット) をクリックします。
フォーマットツールのダイアログボックスが表示されます。
2. [SD カード] の ▼ をクリックして、SDHC カードのドライブ名を選択します。
3. [フォーマット] ボタンをクリックします。



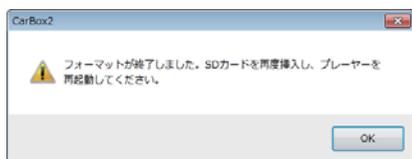
確認メッセージが表示されます。

4. [はい] ボタンをクリックします。



フォーマットが開始されます。終了すると、SDHC カードをセットし直すようメッセージが表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。



6. [×] をクリックして、フォーマットツールのダイアログボックスを閉じます。

7. プレーヤーを再起動します。

8. SD カードスロット、または SD カードリーダーから SDHC カードを取り出し、もう一度セットします。

SDHC カードの専用フォーマットを消去する

記録された映像を PC にバックアップした後、SDHC カードを他の用途で使用したいときはプレーヤーを使って、専用のフォーマットを消去します。

メモ

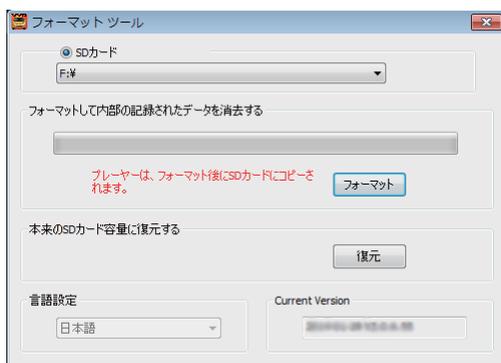
専用フォーマットを消去したのち Windows で使用するには、再度 Windows のフォーマッタでフォーマットする必要があります。

1. プレーヤーウィンドウの **×** (フォーマット) をクリックします。

フォーマットツールのダイアログボックスが表示されます。

2. [SD カード] の▼をクリックして、SDHC カードのドライブ名を選択します。

3. [復元] ボタンをクリックします。



パスワードが設定されている場合は、パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。設定したパスワードを入力してください。

専用フォーマットの消去を確認するメッセージが表示されます。

4. [はい] ボタンをクリックします。



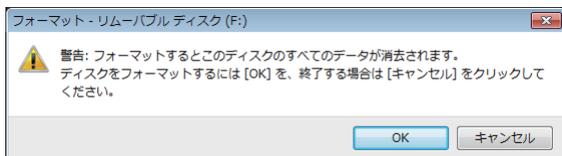
専用フォーマットの消去が開始され、[フォーマット - リムーバブルディスク] ダイアログボックスが表示されます。

5. [開始] ボタンをクリックします。



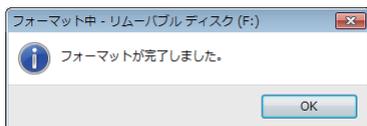
データの消去を警告するメッセージが表示されます。

6. [OK] ボタンをクリックします。



フォーマットが開始されます。終了すると、完了メッセージが表示されます。

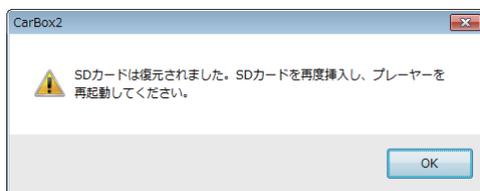
7. [OK] ボタンをクリックします。



8. [閉じる] ボタンをクリックして、[フォーマット - リムーバブルディスク] ダイアログボックスを閉じます。

SDHC カードをセットし直すようメッセージが表示されます。

9. [OK] ボタンをクリックします。



10. [×] をクリックして、フォーマットツールのダイアログボックスを閉じます。

11. プレーヤーを再起動します。

12. SD カードスロット、または SD カードリーダーから SDHC カードを取り出し、もう一度セットします。

ディスプレイで映像を確認する

走行中の映像を車内で見ることができます。設置位置や角度などを確認して、調整するのに役立ちます。PCを使わなくても、SDHCカードに記録された映像を再生することができます。本機ディスプレイでの映像操作は、付属のリモートコントローラーを使います。

キーの機能

リモートコントローラーの各キーの機能は次のとおりです。



ボタン	名称	説明
	手動録画	このボタンを押すと、押した時点の前後合わせて約 100 秒の映像が、通常の走行中の映像とは異なる特別なファイルとして記録され、保護されます。
	モード	ディスプレイ表示のオン/オフを切り替えます。
	プレイバック	記録された映像データの選択画面を表示します。
	音量アップ	音量を上げます。
	音量ダウン	音量を下げます。
	ミュート	録音のオン/オフを切り替えます。
	スピーカー	スピーカーのオン/オフを切り替えます。
	メニュー	設定メニューを表示します。 日時の設定、ディスプレイを消す待ち時間の設定、ソフトウェアのバージョンの表示ができます。
	上	記録された映像データの選択、パスワードの入力に使います。
	下	記録された映像データの選択、パスワードの入力に使います。
	左	ひとつ前へのデータの選択します。 また、ひとつ前のパスワード入力欄に移動します。
	右	次のデータを選択します。 次のパスワード入力欄に移動します。
	エンター	選択したデータを確定します。 また、入力したパスワードを確定します。
	早送り	再生中の映像を早送りします。
	巻き戻し	再生中の映像を巻き戻します。
	再生	映像の再生を開始します。
	一時停止	映像の再生を一時停止します。
	停止	映像の再生を停止します。

※上記以外のキーは、使用しません。

設定メニュー

リモートコントローラーの  (Menu) キーを押すと、本機のディスプレイに設定メニューが表示されます。



設定メニューの機能

項目		機能
日時設定		日時を設定します。
画面設定		画面を消すまでの時間を設定します。
ソフトウェアバージョン		ソフトウェアのバージョンを表示します。

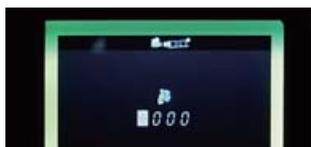
映像の再生

本機の SDHC カードに記録された映像を、本機ディスプレイで再生できます。

1. リモートコントローラーの (プレイバック) を押します。

録画が停止されます。SDHC カードにパスワードが設定されていた場合は、パスワードの入力欄が表示されます。パスワードが設定されていない場合は、手順5に進んでください。

2. 最初の入力欄に、リモートコントローラーの (下) または (上) を押して、設定されているパスワードの1桁目を入力します。



3. リモートコントローラーの (右) を押して、次の入力欄へ移動し、2桁目の数字を入力します。

4. 手順2～3を繰り返して4桁の数字をすべて入力したら、リモートコントローラーの (エンター) を押します。

正しいパスワードが入力されると、記録された映像データの一覧が表示されます。

5. リモートコントローラーの 、または を押して、再生したいデータを選択します。



6. リモートコントローラーの を押します。

選択したデータが再生されます。

困ったときは

修理を依頼される前に、次の症状・対処方法を確認してください。症状が該当しない、または指示どおりにしても解決できない場合には、お買い上げの販売店にご連絡ください。

Q: 本体の取り付けに失敗しました。左（右・上・下）側が写っていません。

A: 『スタートアップガイド（設置ガイド）』の設置方法を参考に、縦方向の調整を試してください。

A: 両面テープで貼り付けた場合、製品の横の向きを再調整することができません。注意して貼り付け、設置を行ってください。

Q: 急ブレーキや急加速のときも、データ保護がされない、また直ぐに反応してしまう。

A: 設定メニューのシステム設定で、「衝撃検知の感度」設定を変更して、保護機能の働く G センサーの値を調整してください。また、使用状況に合わせてこの設定を適宜調整することをお勧めします。

Q: 電源が入らない / 録画が開始されない

以下のステップを確認してください。

- ・シガープラグとシガーソケットとの接続を正しいか確認してください。
- ・製品の DC ジャックにシガーチャージャーが正しく接続されているか確認してください。
- ・シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は同じ容量（1.0A）のヒューズと交換してください。
- ・シガーライターをタバコの点火に多用されている場合は、シガーソケット内部が汚れていないかを確認してください。2、3度シガープラグを廻しながら入れると改善できる場合があります。

Q: シガーチャージャーとシガーソケットの形状が合わない。

A: 市販のシガーソケットを複数に分配するソケットなどを使用して取りつけてください。

Q: 録画が開始されない。

A: 以下のステップを確認してください。

- ・SDHC カードが正しく挿入されているか確認してください。
- ・SDHC カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は SDHC カードを取り換えてご使用ください。その際は弊社推奨の SDHC カードをご使用ください。（推奨の SDHC カードは弊社 Web ページを参照してください）
- ・付属のプレーヤーで、SDHC カードのフォーマット（初期化）や復元を試みてください。

製品仕様

■本体

製品型番	LVR-SD120H
コーデック	H.264
撮影素子	CMOS
画角 (対角)	105°
電源電圧	DC5V ± 5% (付属シガーチャージャー接続)
動作温度	-10°C ~ 60°C
記録メモリ	SDHC カード Class 10 以上 (4 ~ 32GB)
記録形式	独自形式 (専用プレーヤーからのみ参照可能)
フレームレート	最大 30 fps
イメージサイズ	720p (1280 × 720)
音声録音	あり (ON/OFF 設定可能)
記録方式	常時録画 + イベントデータ保護
記録データ	日時、映像データ、音声データ、G センサーデータ
イベントファイルサイズ	約 48 ~ 96MB (約 50 ~ 100 秒の記録) 記録設定：最高画質、音声録音あり
データ保護条件	G センサー (5 段階設定可能) で衝撃を検知 手動データ保護可能
日時設定	内蔵の時計が使用されます。
外形寸法	84.5 × 39.0 × 50.5mm (突起部分を除く)
重量	約 83g

■付属シガーチャージャー

入力電圧	DC+12V/24V
出力電流	1000mA
外形寸法	89.5 × 41.0 × 20.3mm
質量	約 116g
長さ	約 3.4m

■プレーヤー動作要件

対応 OS	Windows Vista (32bit/64bit)、Windows 7 (32bit/64bit)、 Windows 8 (32bit/64bit)
パソコン推奨環境	上記 OS がプリインストールされた PC、または上記 OS が動作する PC グラフィック：XGA (1024 X 768) 以上の解像度

サポート修理受付窓口のご案内

■製品に関するお問合せ

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行っておりません。

This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

サポートページ



テクニカルサポート

TEL : 0570-022-022 FAX : 0570-033-034

受付時間 : 10 : 00 ~ 19 : 00

営業日 : 月曜日～土曜日 (夏期、年末年始特定休業日を除く)

お問合せの前に以下の内容をご確認ください。

- ・弊社製品の型番
 - ・ご利用の車種
 - ・ご質問内容 (症状、やりたいこと、お困りのこと)
- ※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

■修理について

製品保証は、日本国内においてのみ有効です。国外からの修理依頼は、保証期間の有無を問わず対応いたしません。

This warranty is valid only in Japan.

製品本体以外の付属品は、保証対象ではありません。

修理は、修理センターへお送りいただいた依頼品を修理 (製品交換の場合あり) してご返却します。保証期間中の修理については、保証規定に従い修理します。保証期間の有無が確認できない場合、保証期間を超えた修理については有料となります。ただし、生産終了後の経過期間によっては修理できない (修理終息) 場合がありますのであらかじめご了承ください。

■修理ご依頼時の確認事項

- ・修理期間中の貸出機、代替機はありません。
- ・保証期間の有無にかかわらずご送付頂く際の送料はお客様負担となります。
- ・輸送中の紛失、破損に関して弊社では責任を負いかねます。梱包材を用いて梱包し、必ず発送の控えが残る宅配便にてご送付いただき、依頼品がお手元に戻るまで発送の控えは大切に保管してください。
- ・保証期間内の修理を依頼される場合は、ご購入年月日の確認できる販売店印のある保証書、保証書シール、レシートを添付してください。
- ・依頼品には、お客様の氏名、連絡先 (ご住所 / 電話番号)、故障の状態を書面にて添付してください。

■修理依頼先

〒396-0111
長野県伊那市美すず 8268 番地 1000
ロジテック INA ソリューションズ株式会社 3 番窓口エレコムグループ修理センター
TEL:0265-74-1423 FAX:0265-74-1403

○電話受付時間

月～金 9:00～12:00、13:00～17:00

※祝日、夏期、年末年始、特定休業日を除く

製品に関する技術的なお問合せや修理が必要かどうかについてのお問合せは、テクニカルサポートへお願いします。

■廃棄について

お住まいの自治体の区分にしたがって廃棄してください。

ELECOM

LVR-SD120H プレーヤー操作ガイド
2014年4月第2版

ELECOM

© 2014 ELECOM CO.,LTD. All rights reserved.